

PRESS RELEASE

# 古代 アンデス文明展

## ANCIENT CIVILIZATION OF THE ANDES



2018.10.6 SAT — 12.2 SUN

はるか地球の裏側、  
南アメリカ大陸で興亡を繰り返した  
古代アンデス文明

—いま、ここでよみがえる。



### タイトル 特別展「古代アンデス文明展」

会期 平成30(2018)年10月6日(土)～12月2日(日)

開館時間 9時30分～17時00分(入場は16時半まで)

休館日 毎週月曜日・第4火曜日(ただし10/8(月・祝)は開館、10/9(火)は閉館)

【10/9(火)、15(月)、22(月)、23(火)、29(月)】

【11/5(月)、12(月)、19(月)、26(月)、27(火)】

観覧料 一般1,300(1,100)円・高大生900(700)円・小中生500(300)円

※( )内は前売および20名以上の団体料金。

※前売券は10月5日(金)まで、名古屋市博物館、主要プレイガイド、主なコンビニエンスストア、チケットぴあ(Pコード769-189)、ローソンチケット(Lコード41986)、イープラス、セブンイレブン、中日新販売店、中日文化センターなどでお求めいただけます。

※名古屋市交通局の一日乗車券・ドニチエコきっぷを利用して来館された方は100円割引。

※身体等に障害のある方または難病患者の方は、手帳または受給者証の提示により、本人と介護者2人まで当日料金の半額になります。

※各種割引は重複してご利用いただくことはできません。

主催 名古屋市博物館、CBCテレビ、中日新聞社

後援 ペルー大使館、ボリビア大使館

協力 ペルー文化省、ボリビア文化観光省、NTTドコモ、クントウル・ワシ調査団、

国立民族学博物館、東京大学総合研究博物館、CBCラジオ、近畿日本鉄道

企画制作 国立科学博物館、TBSテレビ



## 名古屋市博物館 NAGOYA CITY MUSEUM

名古屋市博物館 学芸課 資料提供や広報一般については▶鈴木または広報担当主査・竹内

企画内容や取材については▶西澤または川合

〒467-0806 名古屋市瑞穂区瑞穂通 1-27-1 TEL 052-853-2655 Fax 052-853-3636

E-mail ncm-gaku@juno.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.museum.city.nagoya.jp/>

上部左から—《インカ帝国のチャチャボヤス地方で使われたキープ》 インカ文化(15世紀前半～1572年) ペルー文化省・ミラ研究所・レイマパン博物館所蔵/《縄をかけられたラクダ科動物(リヤマ?)が描かれた土製の皿》 ナスカ文化(紀元前200年頃～後650年頃) ティダクティコ・アントニーニ博物館所蔵/《細かい細工がほどこされた金の装飾品》 シカン文化(紀元後800年頃～後1375年頃) ペルー文化省・国立プルーニョ考古学博物館所蔵/《象嵌のマスク》 モチエ文化(紀元後200年頃～後750/800年頃) ペルー文化省・国立博物館所蔵/《刺青またはフェイスペイントをした小像》 クビスニケ文化 形成期中期(前1200～前800年) リマ美術館所蔵/《コップを持った男性の坐像をかたどった2色(白黒)の手捏ね土器》 チャンカイ文化 天野フレコロンビアン織物博物館所蔵/《土製のリヤマ像》フリ文化(紀元後650年頃～後1000年頃) ペルー文化省・国立考古学人類学歴史学博物館所蔵 写真:マチュピチュ(ペルー)



# 古代アンデス文明とは

古代アンデス文明とは、南アメリカ大陸太平洋沿岸部の南北 4000 km、標高差 4500m に及ぶ広大な空間において、先史時代からインカ帝国が滅亡する 16 世紀までの間に盛衰した文化全体をさします。空間・時間ともに長大な世界を舞台に、多種多様な文化が育まれました。ナスカの地上絵やインカ帝国のマチュピチュといった巨大な遺跡が残され、神々や死者を象った土器、精巧な黄金製品や織物、ミイラなど、それぞれの文化において独特で神秘的な世界観が広がっています。



《人間をかたどった祭祀用の杯(容器)》 チムー文化  
(紀元後 1100 年頃～後 1470 年頃) リマ美術館所蔵



《装飾付きの壺》シカン文化(紀元後 800 年頃～後 1375 年頃)  
ペルー文化省・国立シカン博物館所蔵

本展覧会では古代アンデス文明を代表する 9 つの文化を中心に、選び抜かれた貴重な資料約 200 点から秘められた文明を紹介します。



## 展示構成

### 序章 アンデスへの人類到達

アンデス特有の環境に、いつ、どのように人々は到達したのかを紹介。

### 第 1 章 アンデスの神殿と宗教の始まり **先土器時代後期の文化(カラル)**

カラル遺跡やコトシュ遺跡などアンデス初期の祭祀センターや神殿を紹介。

### 第 2 章 複雑な社会の始まり **チャビン文化**

石の文明の始まりともいえる、チャビン文化の宗教観や社会構造を紹介。

### 第 3 章 さまざまな地方文化の始まり **モチェ文化、ナスカ文化**

「神々」「死者」「自然」「人間」の 4 つの世界観に基づく個性的な土器の多いモチェ文化と、同時代に華開いたナスカ文化との違いを紹介。

### 第 4 章 地域を超えた政治システムの始まり **ティワナク文化、ワリ文化、シカン文化**

高度な石造建築技術を持つティワナク、高地で繁栄したワリ、黄金文化のシカンなどインカ帝国の基礎となった重要文化を紹介。

### 第 5 章 最後の帝国 - チムー王国とインカ帝国 **チムー文化、インカ文化**

アンデス文明の最後を飾った二つの勢力とその実像を紹介。

### 第 6 章 身体から見たアンデス文明

身体に現れた様々な加工の跡を概観し、ミイラ文化の風習に迫る。

《チュニクの一部》  
ワリ文化(紀元後 650 年頃～後 1000 年頃)  
天野プレコロンビアン織物博物館所蔵



# 「古代アンデス文明展」 展覧会の見どころ



- ①日本に集結、古代アンデス一大文明史！
- ②黄金！ミイラ！摩訶不思議、アンデス文明の謎に迫る！
- ③ユニーク、かわいい、神秘的…個性あふれるアンデス土器。

《木製柱状人物像》 チムー文化（紀元後1100年頃～後1470年頃）ペルー文化省・チャンチャン遺跡博物館所蔵

## ①日本に集結、古代アンデス一大文明史！

古代アンデス文明では、各地域で気候や自然環境が異なり、それぞれに適応した生活と文化が根付きました。その特性は海岸に広がる砂漠地帯で発達した海の文化圏と、高原や谷、盆地で発達した山の文化圏に大きく分かれます。いくつもの文化が連なり、互いに影響を与えあいながら発展しました。

その中でも、カラル、チャビン、ナスカ、モチエ、ティワナク、ワリ、シカン、チムー、インカという9つの文化を、本展覧会の核として取り上げています。各文化の逸品が集結し、先史から時代を追ってアンデスの全体像に迫ります。特にワリ、ティワナクという2つの文化は日本で初めての紹介となります。

宗教的な神殿遺跡があったチャビン、石の聖地ティワナク、黄金の都シカン、大帝國を築き上げたインカなど…それぞれの都の遺跡や発掘された遺物、工芸品の数々とともに一大文明史を巡ることができます。

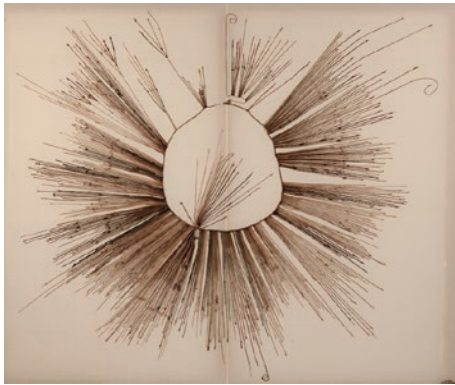


チャビン・デ・ワンタル遺跡



ティワナクの石の神殿

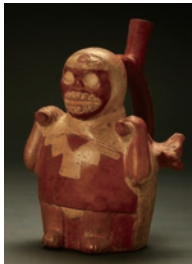
## ②黄金！ミイラ！摩訶不思議、アンデスの謎に迫る！



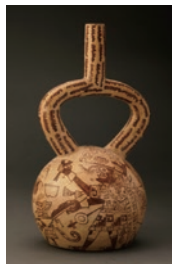
《インカ帝国のチャチャボヤス地方で使われたキープ》 インカ文化(15世紀前半～1572年) ペルー文化省・ミイラ研究所・レイメパンバ博物館所蔵

### ▲文字のない文化

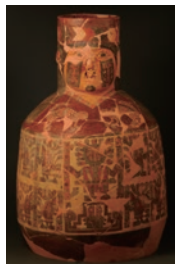
古代アンデスは高度な文明ながら、文字が存在しませんでした。代わりに、キープと呼ばれる紐に結び目を作ることで情報を伝達するなど、アンデス流の方法がありました。その方法とは？



《シカを背負う死者をかたどった鍔型注口土器》 モチェ文化(紀元後200年頃～後750/800年頃) ラルコ博物館所蔵



《2柱の主神が描かれた鍔型注口土器》 モチェ文化(紀元後200年頃～後750/800年頃) ラルコ博物館所蔵



《杖を持つ神が描かれた多彩色鍔》 ワリ文化(紀元後650年頃～後1000年頃) ペルー文化省・アヤクチャョ地方歴史博物館「イボリト・ウナヌエ」所蔵

### ▲独特な世界観？

アンデスの人々は「神々」「死者」「自然」「人間」という4つの世界を認識していました。その思想は土器や織物などの工芸品や建築物に如実に反映されました。装飾に込められた意味とは？

### ▼ミイラはなぜ作られたのか？

遥か7000年前よりアンデスではミイラが作られ、インカ帝国の時代まで続きました。さまざまな“ミイラ包み”の技法や独自の風習から、知られざるアンデスの身体観の秘密に迫ります。



《少女のミイラとその副葬品》 チリバヤ文化 ペルー文化省・ミイラ研究所・チリバヤ博物館所蔵

### ▼生み出された高度な黄金文化とは？

アンデスでは黄金を使った装飾品や儀礼用品などが多数生産されました。黄金の輝きとともにコップや器、胸飾りに施された打ち出し細工の高い、加工技術にも着目してみてください。



《金の胸飾り》 シカン文化(紀元後800年頃～後1375年頃) ペルー文化省・国立プルーニング考古博物館所蔵

## ③ユニーク・かわいい・神秘的…

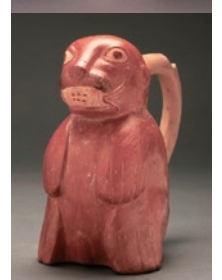
## 個性あふれるアンデス土器。

アンデスでは、左右非対称で個性的な土器が多く作られました。人物や動物、この世のものでない怪物や神々などをモチーフとし、彫刻のように立体的に象られた土器が数多くあります。

あぶみがたちゅうこうどき

特に鍔型注口土器と呼ばれる、鍔(馬に乗る時に足をかける道具)に似た注口を持つ特殊な土器のバリエーションは、本展だけで27点を数えます。ほかにも壺や皿など、鮮やかな色彩と奇抜でどこか愛嬌のある造形や文様が目を引きまします。是非その姿をじっくりと眺め、遺物に隠された意味を探ってみてください。

左側上より《植物を身に着けた人間型神話的存在が描》 アドルフォ・ベルムデス・ジェンキンス 鍔所蔵 / 《ネコ科動物をかたどった儀式用香炉》 ティワナク文化(紀元後500年頃～後1100年頃) 国立考古学博物館/ボリビア所蔵 / 《ネズミ型象形鍔型土器》 クビニスケ文化 形成期後期(前800～前500年) リマ美術館所蔵 / 《アシカをかたどった鍔型単注口土器》 モチェ文化(紀元後200年頃～後650年頃) ラルコ博物館所蔵







## 関連事業

\*講演会などで、手話通訳・要約筆記などによるサポートをご希望の方は、当日の2週間前までに博物館にご相談ください。

### ○記念講演会

10月13日(土) 「古代アンデス文明 その誕生から滅亡まで」  
講師：篠田謙一氏(本展監修者/国立科学博物館 副館長 兼 人類研究部長)

10月20日(土) 「古代アンデスとはどんな文明だったのか?」  
講師：渡部森哉氏(南山大学 人文学部教授)

開演：13:30~15:00(開場 13:00)  
会場：地下1階講堂(定員 220名)  
聴講無料(ただし本展観覧券が必要。観覧済半券も可)

\*当日9:30より聴講整理券を展示会場入口で先着順に配布します  
(1観覧券につき1枚のみ)。



マチュピチュ

### ○展示説明会

10月14日(日) / 11月3日(土・祝)

開演：13:30(開場 13:00)  
会場：1階展示説明室(先着 100名)  
講師：当館学芸員  
聴講無料(各回30分程度予定)



◀木製の舞送行列のミニチュア模型▶  
チム文化(紀元後1100年頃~後1470年頃)  
ペルー文化省・モチェ神殿群博物館所蔵

### ◆しあわせ “もふもふ” アルパカがやってくる!

10月27日(土) 10:00~16:00  
会場：博物館 庭園

#### ★ふれあい記念撮影会

①10:00~②11:30~③13:30~④15:00~  
参加費無料。各回30組。(撮影用カメラをお持ちください)

- \*各回の整理券を9:30より展示会場入口にて先着順で配布します。無くなり次第終了となりますのでご了承ください。
- \*ふれあい記念撮影会の参加時に、本展の人数分の観覧券または観覧済みの半券が必要です。
- \*天候、動物の体調等により中止する場合があります。



【株式会社 青空 愛知県新城市一織田島中44番1/展示/動東第407号/H27.2.9~H32.2.8/取扱責任者 竹内勝貴】

### ◆ロビーコンサート

「アンデスの風に乗って」  
演奏：グルーポ サヤ アンデス

11月10日(土)  
開演 ①13:30~②15:00~  
会場：博物館1階ロビー  
協力：宗次ホール  
聴講無料

各回30分程度  
同演目を予定♪

名古屋市博物館  
× 宗次ホール  
提携企画

### ◇スイーツタイムコンサート

「遙かなるアンデスを想う」  
演奏：グルーポ サヤ アンデス

10月25日(木) 開演 13:30~  
会場：宗次ホール  
お問い合わせ先：宗次ホール  
(052-265-1718)

広報用 作品画像・読者プレゼントチケット 申請書

名古屋市博物館特別展 「古代アンデス文明展」

平成 30 年 10 月 6 日（土）～平成 30 年 12 月 2 日（日）

広報用画像の使用は、特別展「古代アンデス文明展」を紹介する場合に限ります。
展覧会終了後の広報用画像の使用、または二次利用はお断りします。
広報用画像を紹介する場合は、展覧会名・会期・会場・作品名・クレジットを必ず記載してください。
広報用画像は全図で使用してください。トリミング、変形、部分使用、文字のせを行う場合は事前に申請の上、承諾が必要となります。
掲載記事につきましては、基本情報確認のため、校正刷り、原稿の段階で下記のお問合せ先までお送りください。

貴社名 媒体名
〒
ご住所
ご担当者名 所属部署
TEL FAX
E-mail

ご掲載・放映の予定日が決まっている場合はお知らせください。 年 月 日

【個人情報の取扱いについて】

ご記入いただきました個人情報は、名古屋市博物館より本展覧会に関する情報発信や連絡などが必要な場合にのみ使用します。
許可なく第三者に開示することはありません。

作品画像を1点以上掲載し、本展をご紹介いただける場合、読者向けチケット(5組10名分まで)を提供します。
希望する 組 名分
希望しない

※原則として掲載紙・誌（webの場合は掲載アドレス通知のメール）が広報担当に到着し、確認させていただいてから発送いたします。

希望される画像の□に✓してください。

※資料名など写真のキャプションは記載のとおりに表示してください（改行は適宜行って構いません）

Grid of 10 items for selection: 1. Small clay figurine, 2. Gold mask, 3. Clay llama, 4. Gold coin, 5. Male figurine with cup, 6. Clay plate with llama, 7. Sun disc, 8. Girl's mummy, 9. Exhibition poster, 10. Exhibition logo.